

# RV160およびRV260ルータでのセッションタイムアウト設定の設定

## 目的

セッションタイムアウト機能は、特定のセッションが閉じられるまでのアイドル状態を維持できる時間を定義します。これにより、アイドル状態のときにセッションからログアウトすることで、ネットワークへの不要なアクセスが可能になる可能性も制限されます。

セッションタイムアウトの設定は、時間のかかる設定を行う場合にも便利です。そのため、設定したセッションタイムアウトを長い時間に設定できます。これにより、セッションがタイムアウトになったため、管理者が設定全体を再実行する必要がある状況を回避できます。

この記事の目的は、RV160およびRV260ルータでセッションタイムアウトを設定する方法を示すことです。

## 該当するデバイス

- RV160
- RV260

## [Software Version]

- 1.0.00.13

## セッションタイムアウトの設定

[Session Timeout]セクションでは、Transmission Control Protocol(TCP)/User Datagram Protocol(UDP)/Internet Control Message Protocol(ICMP)フローのセッションタイムアウトおよび最大同時接続数を設定できます。

TCPとUDPは、インターネットプロトコルスイートのコアプロトコルの一部であるトランスポートプロトコルです。TCPとUDPの両方がTCP/IPモデルのトランスポート層で動作します。TCPは3ウェイハンドシェイクを使用して信頼性の高い接続を確立するのに対し、UDPは信頼性が低いが、TCPと比較すると高速です。ICMPは、エラーの報告と通知、およびネットワーク検出に使用されるネットワーク層プロトコルです。

セッションタイムアウトは、TCP/UDP/ICMPセッションがアイドル状態の期間が経過した後にタイムアウトするまでの時間です。セッションタイムアウトを設定するには、次の手順を実行します。

ステップ1: Web設定ユーティリティにログインします。

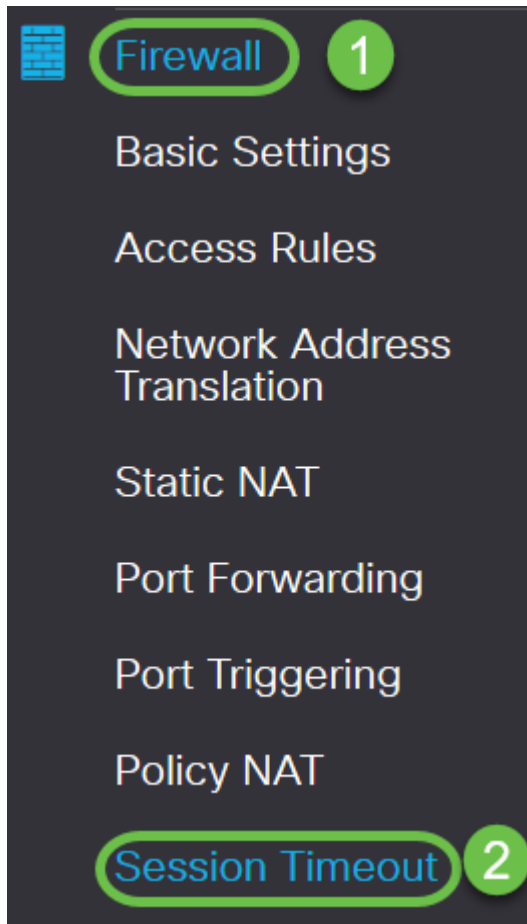
注：この記事では、RV260を使用してセッションタイムアウトを設定します。設定は、使用しているモデルによって異なります。



# Router

Username	1
Password	2
English	▼
<input type="button" value="Login"/>	

ステップ2:[Firewall] > [Session Timeout]をクリックします。



ステップ3 : 次を入力します。

- **TCPセッションタイムアウト**:TCPセッションのタイムアウト値を秒単位で入力します。非アクティブなTCPセッションは、この期間 ( デフォルトは1800、範囲は30 ~ 86400 ) の後にセッションテーブルから削除されます。
- **UDPセッションタイムアウト**:UDPセッションのタイムアウト値を秒単位で入力します。非アクティブなUDPセッションは、この期間 ( デフォルトは30、範囲は30 ~ 86400 ) 後にセッションテーブルから削除されます。
- **ICMPセッションタイムアウト**:ICMPセッションのタイムアウト値を秒単位で入力します。非アクティブなICMPセッションは、この期間 ( デフォルトは30、範囲は15 ~ 60 ) の後にセッションテーブルから削除されます。
- **最大同時接続数**:使用可能な同時接続数の最大数を入力します ( デフォルトは25000、範囲は10000 ~ 25000 ) 。
- **現在の接続**:現在の接続数を表示します。
- **接続のクリア**:クリックすると、現在の接続がクリアされます。

注 : RV160の場合、[Default Maximum Concurrent Connections]は15000で、[Range]は10000 ~ 15000です

## Session Timeout

TCP Session Timeout:	<input type="text" value="1800"/>	sec. (Default : 1800, Range : 30 - 86400)
UDP Session Timeout:	<input type="text" value="30"/>	sec. (Default : 30, Range : 30 - 86400)
ICMP Session Timeout:	<input type="text" value="30"/>	sec. (Default : 30, Range : 15 - 60)
Maximum Concurrent Connections:	<input type="text" value="25000"/>	(Default: 25000, Range: 10000-25000)
Current Connections:	<input type="text" value="60"/>	<input type="button" value="Clear Connections"/>

### ステップ4:[Apply]をクリックします

Session Timeout		<input type="button" value="Apply"/>	<input type="button" value="Cancel"/>
TCP Session Timeout:	<input type="text" value="1800"/>	sec. (Default : 1800, Range : 30 - 86400)	
UDP Session Timeout:	<input type="text" value="30"/>	sec. (Default : 30, Range : 30 - 86400)	
ICMP Session Timeout:	<input type="text" value="30"/>	sec. (Default : 30, Range : 15 - 60)	
Maximum Concurrent Connections:	<input type="text" value="25000"/>	(Default: 25000, Range: 10000-25000)	
Current Connections:	<input type="text" value="60"/>	<input type="button" value="Clear Connections"/>	

これで、RV160およびRV260ルータのセッションタイムアウト設定が正常に設定されました。